

# 令和元年度第3回「まちかどコメンテーター」アンケート調査結果

## まちかどコメンテーターの概要

### (1) まちかどコメンテーターとは

市民の皆様「まちかどコメンテーター」になってもらい、その方々から市民目線の意見・提言を聴取するとともに、市民のニーズを把握し、市政運営の参考とさせていただくものです。

また、アンケートを通じて、市民の皆様の市政への関心・興味を深めることも目的としています。

### (2) まちかどコメンテーターの選定方法

住民基本台帳から無作為抽出した市民2,600人にまちかどコメンテーターへの就任を依頼し承諾いただいた方と、一般公募に応募していただいた方から構成されています。

### (3) 任期

令和元年7月1日～令和3年6月30日

### (4) 人数

245人（男性106人、女性139人）

### (5) 所管課

市民局 市民文化部 市民協働課

## 今回のアンケートの概要

テーマ (担当課)	花と緑について	(建設局 公園緑化課)
	消防団の認知度・今後の地域における役割について	(消防局 警防課)
	健康づくりに関わるボランティアについて	(健康福祉局 保健予防課)
調査期間	令和2年2月14日～3月9日	
送付数	245人	
回答率	78.4% (192人)	

(注) 構成比は小数点第2位以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

(注) 無効な回答は回答数から除外しています。

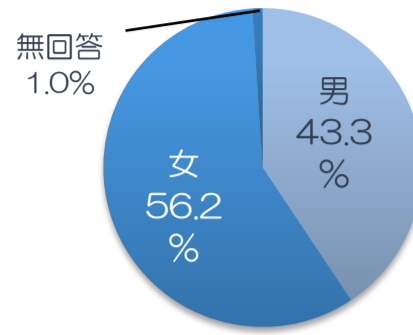
(注) 複数回答可の質問の構成比の合計は100%を超えることがあります。

(注) 自由記入の回答は、主な意見のみを記載しています。全文は市ホームページで公開しています。

## 回答者の構成

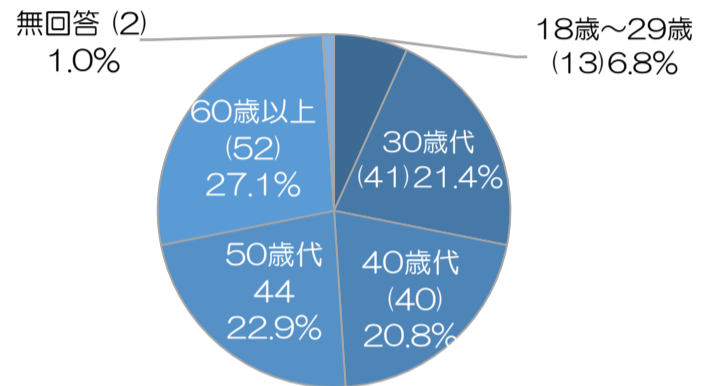
問1. 性別を選択してください。

選択肢	回答数	構成比
男	78	40.6%
女	112	58.3%
無回答	2	1.0%
合計	192	100.0%



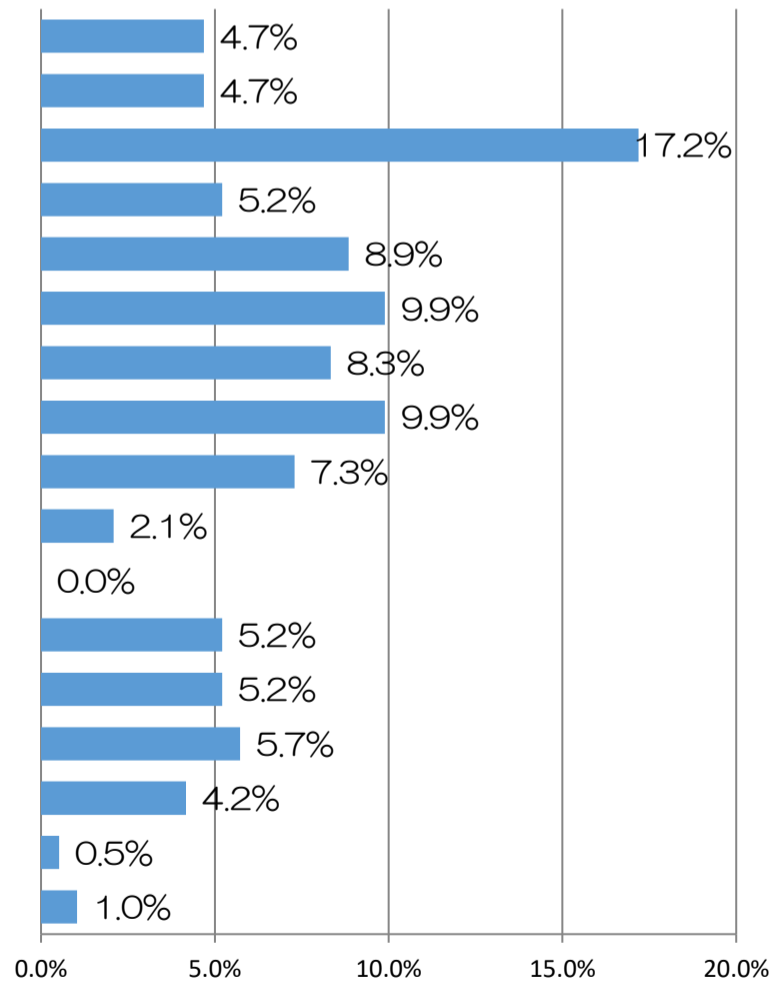
問2. 年代を選択してください。

選択肢	回答数	構成比
18歳～29歳	13	6.8%
30歳代	41	21.4%
40歳代	40	20.8%
50歳代	44	22.9%
60歳以上	52	27.1%
無回答	2	1.0%
合計	192	100.0%



問3. 町名を記入してください。※ご記入いただいた町名を元に集計しています。

地域	回答数	構成比
中央地区	9	4.7%
上町地区	9	4.7%
鴨池地区	33	17.2%
城西地区	10	5.2%
武・田上地区	17	8.9%
谷山北部地区	19	9.9%
谷山地区	16	8.3%
伊敷地域	19	9.9%
吉野地域	14	7.3%
桜島地域	4	2.1%
東桜島地域	0	0.0%
吉田地域	10	5.2%
喜入地域	10	5.2%
松元地域	11	5.7%
郡山地域	8	4.2%
市外	1	0.5%
不明	2	1.0%
合計	192	100.0%



# 1. 花と緑について

## 【アンケートの目的】

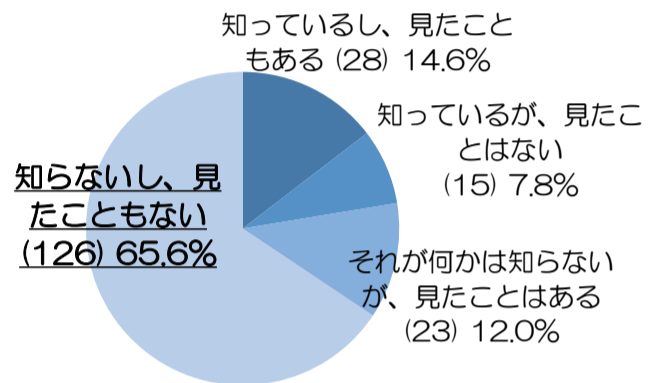
本市では、うるおいと安らぎを与える花と緑で彩るまちづくりを推進しているほか、貴重な緑を次世代へ継承すべく保全活動に取り組んでおります。

今回は、今後の事業推進の参考とするため、鹿児島中央駅周辺の花と緑についてと、国の文化財に指定されている城山についてアンケートを実施しました。

## 【調査結果】

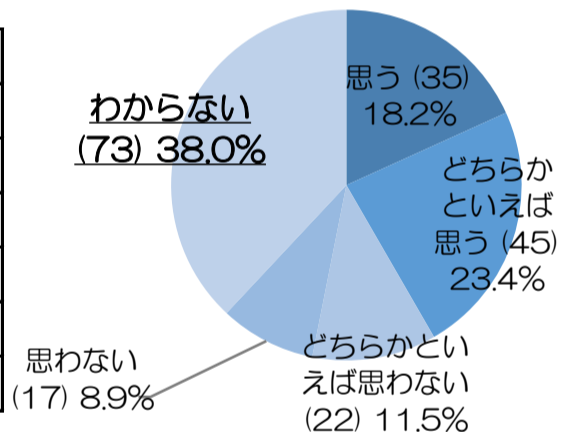
問4：ナポリ通りのクスノキにガーデンデンドロビウムが着生されていることを知っていますか。また、見たことがありますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
知っているし、見たこともある	28	14.6%
知っているが、見たことはない	15	7.8%
それが何かは知らないが、見たことはある	23	12.0%
知らないし、見たこともない	126	65.6%
合計	192	100.0%



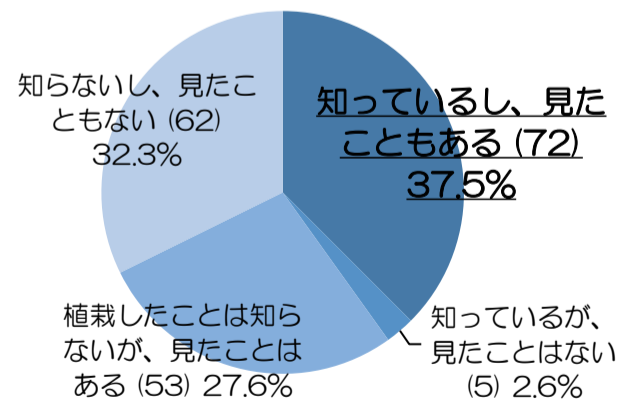
問5：ナポリ通りのクスノキのガーデンデンドロビウムは「南国・鹿児島を感じさせる都市空間」を創出していると思いますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
思う	35	18.2%
どちらかといえば思う	45	23.4%
どちらかといえば思わない	22	11.5%
思わない	17	8.9%
わからない	73	38.0%
合計	192	100.0%



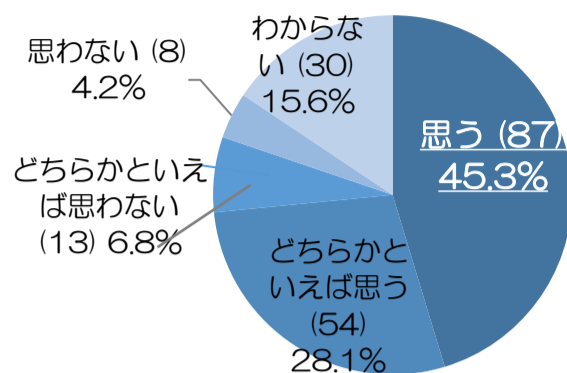
問6：鹿児島中央駅東口・西口駅前広場にヤシやハイビスカスなどが植栽されていることを知っていますか。また、見たことがありますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
知っているし、見たこともある	72	37.5%
知っているが、見たことはない	5	2.6%
植栽したことは知らないが、見たことはある	53	27.6%
知らないし、見たこともない	62	32.3%
合計	192	100.0%



問7：鹿児島中央駅東口・西口駅前広場のヤシやハイビスカスなどは「南国・鹿児島を感じさせる都市空間」を創出していると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	87	45.3%
どちらかといえば思う	54	28.1%
どちらかといえば思わない	13	6.8%
思わない	8	4.2%
わからない	30	15.6%
合計	192	100.0%

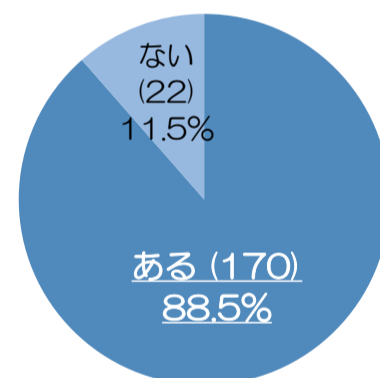


問8：鹿児島中央駅周辺の花と緑について、どのようなことでも構いませんので、自由にご記入ください。

- ・鹿児島中央駅周辺は高層ビルが多くヤシやビロウの木が目立たない状況である。低木でも南国のイメージの高いハイビスカスや菜の花、ブーゲンビリア、赤のサルビアを花園いっぱい季節毎に植えるとよいと思います。
- ・季節ごとに良く手入れをされて季節の変化を感じることが出来て、市民の心をなごませてくれているを思います。
- ・駅を出た時にもっと多くの花と緑があった方がよいと思う。
- ・南国感を出したいのであれば、もっと思い切り花々を植えた方がよいと思います。あまり…南国感を感じられないです。

問9：これまで城山に訪れたことがありますか。(ひとつだけ)  
※ただし、城山ホテル鹿児島島の利用は除きます。

選択肢	回答数	構成比
ある	170	88.5%
ない	22	11.5%
合計	192	100.0%

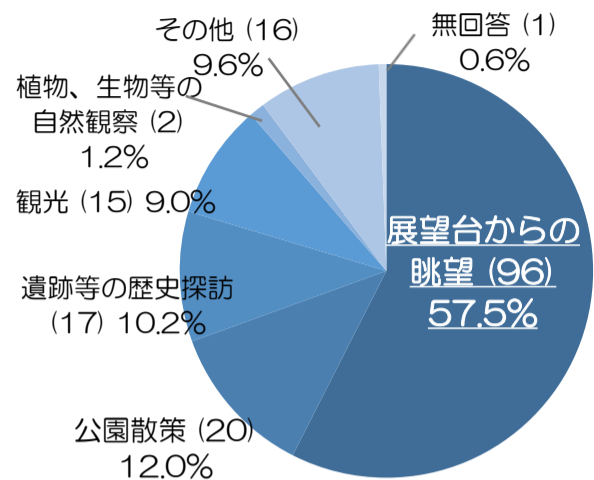


問9で「ある」を選択された方にお伺いします。

問10：前回、城山を訪れたときの目的はなんでしたか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
展望台からの眺望	96	57.5%
公園散策	20	12.0%
遺跡等の歴史探訪	17	10.2%
観光	15	9.0%
植物、生物等の自然観察	2	1.2%
その他	16	9.6%
無回答	1	0.6%
合計	167	100.0%

無効回答 3件

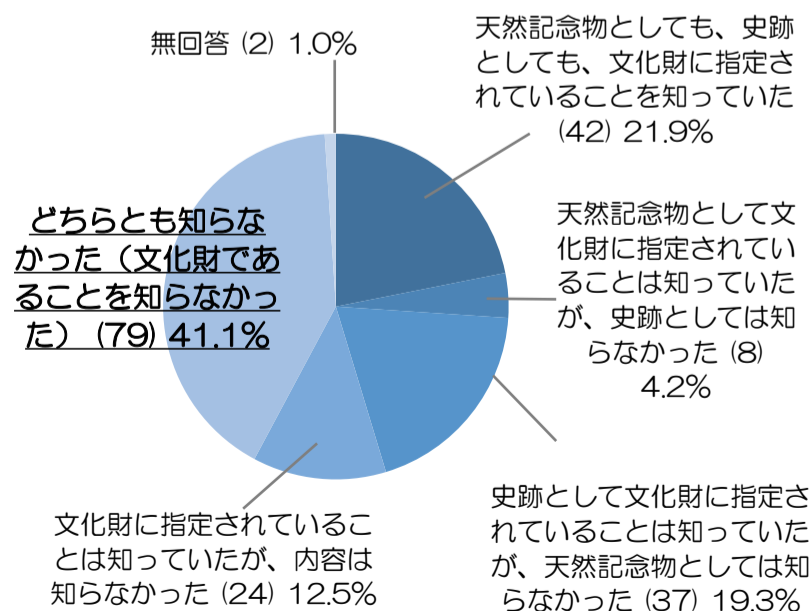


その他の意見

- ・ウォーキング
- ・県外からのお客様案内

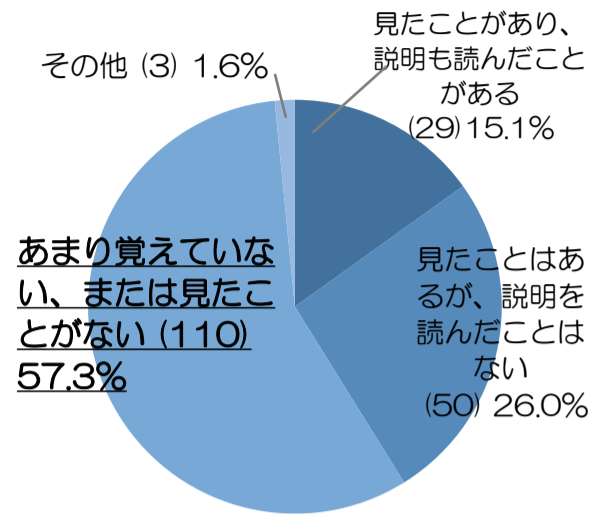
問11：城山は天然記念物としても、史跡としても国指定の文化財に指定されています。城山が文化財に指定されていることを知っていましたか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
天然記念物としても、史跡としても、文化財に指定されていることを知っていた	42	21.9%
天然記念物として文化財に指定されていることは知っていたが、史跡としては知らなかった	8	4.2%
史跡として文化財に指定されていることは知っていたが、天然記念物としては知らなかった	37	19.3%
文化財に指定されていることは知っていたが、内容は知らなかった	24	12.5%
どちらとも知らなかった（文化財であることを知らなかった）	79	41.1%
無回答	2	1.0%
合計	192	100.0%



問12：城山には、城山が国指定の文化財であることを説明する看板を設置していますが、見たことがありますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
見たことがあります、説明も読んだことがある	29	15.1%
見たことはあるが、説明を読んだことはない	50	26.0%
あまり覚えていない、または見たことがない	110	57.3%
その他	3	1.6%
合計	192	100.0%



その他の意見

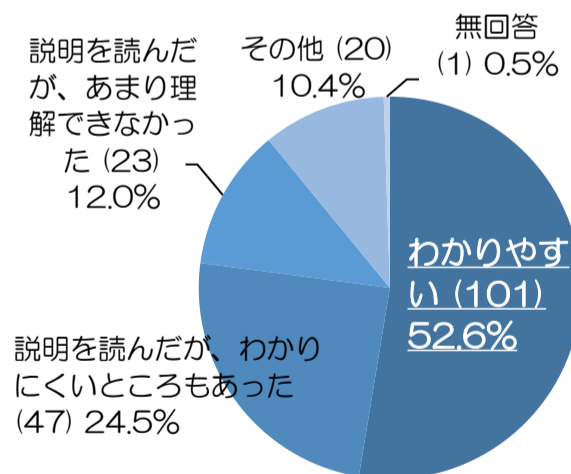
- ・行ったことがない

明治23年、鹿児島市最初の公園として開設されました。公園面積は、展望台（高さ107メートル）から東側斜面を含む15.6haです。  
 緑豊かな遊歩道や雄大な桜島、美しい錦江湾、市街地を眺める展望台、林間で遊べるドン広場、鶴丸城のこの丸庭園であった探勝園などがあります。  
 この「城山」は、14世紀（南北朝時代）豪族上山氏の山城の跡で、明治10年西南戦争の最後の激戦地となったところです。  
 また、樹齢約400年にもなるクスの大木など常緑広葉樹やシロヤマシダ、シロヤマゼンマイなどのシダ類等、約600種余りの植物が密生しています。市街地において南九州特有の照葉樹林を保ち、数多くの野鳥や昆虫が生息する自然の宝庫です。  
 このため、約10.9haが昭和6年6月「史跡・天然記念物」として国の文化財指定を受けています。



問13：城山が国指定の文化財であることを説明する上記写真の看板の説明はわかりやすいと感じますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
わかりやすい	101	52.6%
説明を読んだが、わかりにくいところもあった	47	24.5%
説明を読んだが、あまり理解できなかった	23	12.0%
その他	20	10.4%
無回答	1	0.5%
合計	192	100.0%



その他の意見

- ・理解はできたが、文章が長いと感じた
- ・分かりにくいことはないが記憶に残りづらい印象です。

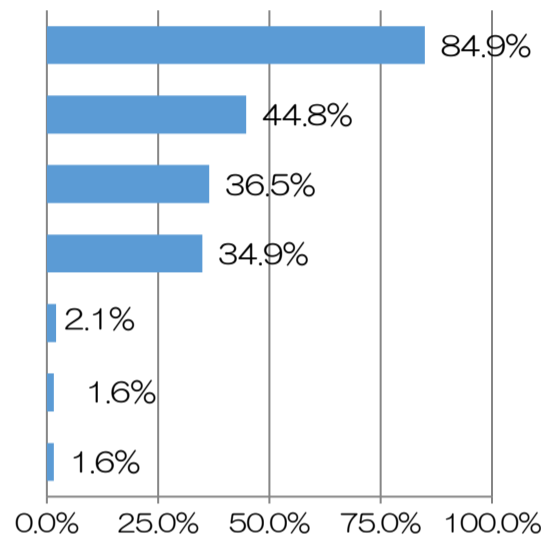
問13で「説明を読んだが、わかりにくいところもあった」または「説明を読んだが、あまり理解できなかった」を選択した方へお伺いします。

問14：説明の中でどういった点がわかりにくいと感じましたか。

- ・字が小さい
- ・15.6haと10.9haが良くわからない。
- ・「わかりにくい」と言うより、興味がわくような、ワクワクする気持ちがおこらない。「ただの説明」になっていて県外などからいらした方が初めて知りもっと知りたいと思える工夫があると良いなと感じます。レイアウトや色、形。内容もかな。ベクトルの方向を反対にして！

問15：城山で魅力だと感じる場所はどこですか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
展望台からの眺望	163	84.9%
史跡などの歴史的環境	86	44.8%
散策路などの公園としての機能	70	36.5%
草木などの自然	67	34.9%
特になし	4	2.1%
その他	3	1.6%
無回答	3	1.6%
合計	396	



問16：城山について、どのようなことでも構いませんので、自由にご記入ください。

- ・道が分かりにくいので、分かりやすく看板を増やしてほしい
- ・お土産屋がさびれているのもっと人を呼び込めるようなテナントを入れた方が良いのでは？
- ・自然がそのまま残っているのがとても良いです。とても良い保存がされていると思います。
- ・もう少しきれいに整備して欲しい。暗いイメージもある。

### テーマ担当課（公園緑化課）からのコメント

「南国・鹿児島を感じさせる都市空間」について、ナポリ通りのクスノキのガーデンデンドロビウムは41.6%、鹿児島中央駅東口・西口駅前広場のヤシやハイビスカスなどは73.4%の方々が「創出している」と回答されており、ヤシやハイビスカスについては多くの方々に南国・鹿児島を感じていただいている一方、多くの草花を植えた方がよいとのご意見もありました。

また、城山は天然記念物としても史跡としても国指定の文化財であることをご存知の方は21.9%であり、今後さらなる周知や広報が必要であることがわかりました。

今回の調査結果を踏まえ、さらに市民や観光客のみなさんにうるおいと安らぎを感じていただけるよう花と緑で彩るまちづくりを推進し、貴重な緑を次世代に継承すべく保全活動に取り組んでまいります。

## 2. 消防団の認知度・今後の地域における役割について

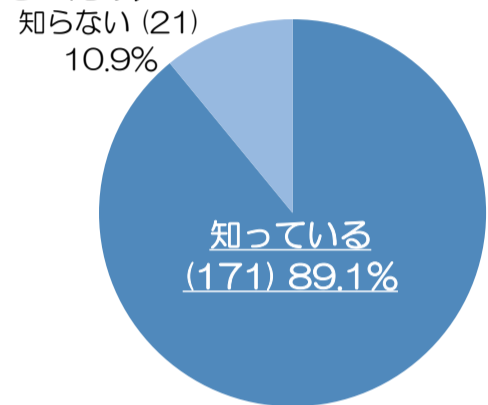
### 【アンケートの目的】

日本各地で大規模な自然災害が頻発するなか、地域における防災体制のさらなる充実・強化が課題となっています。このようなことから、消防局では、消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図るため、消防団の活性化に向けた取り組みを推進しているところです。

つきましては、消防団の認知度や、皆さまが地域消防団に期待する活動などを把握し、消防団の活性化に向けた取り組みの参考とするためアンケートを実施しました。

問17：市内の各地域に消防団があることを知っていますか。（ひとつだけ）

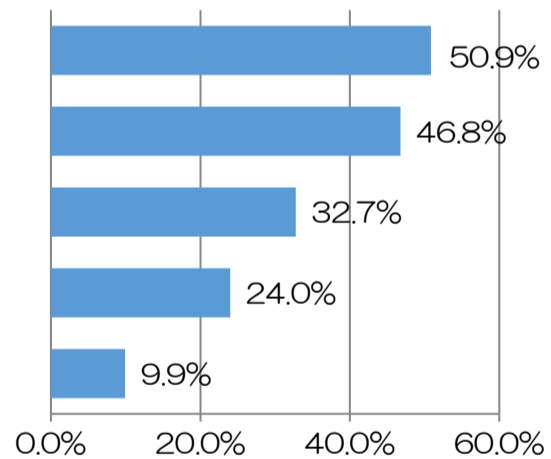
選択肢	回答数	構成比
知っている	171	89.1%
知らない	21	10.9%
合計	192	100.0%



問17で「知っている」と回答した方のみお答えください。

問18：消防団をどのような機会(広報媒体等)で知ることとなりましたか。（いくつでも）(N=171)

選択肢	回答数	構成比
町内会、学校行事等の地域活動	87	50.9%
家族、知人	80	46.8%
新聞、テレビ、ラジオ等の各種メディア	56	32.7%
消防のイベント	41	24.0%
その他	17	9.9%
合計	281	



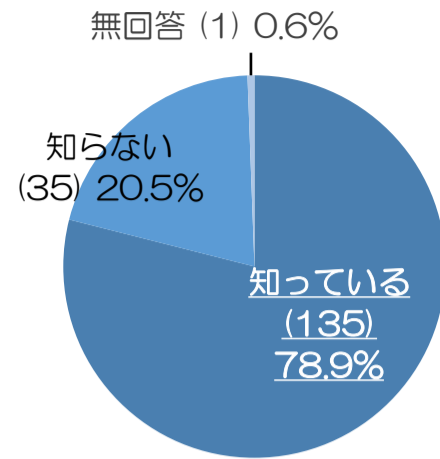
その他の回答

- ・消防団の施設を見て
- ・職場の同僚の団員から



問17で「知っている」と回答した方のみお答えください。  
 問19：消防団の活動内容を知っていますか。（ひとつだけ）

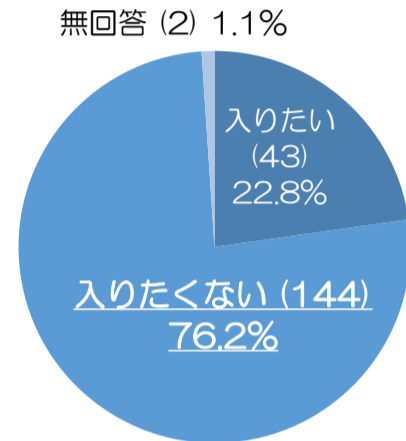
選択肢	回答数	構成比
知っている	135	78.9%
知らない	35	20.5%
無回答	1	0.6%
合計	171	99.4%



問20：資料等を読まれ、消防団に入りたいと思いますか。（ひとつだけ）  
 ※年齢、体力面については考えないでください。

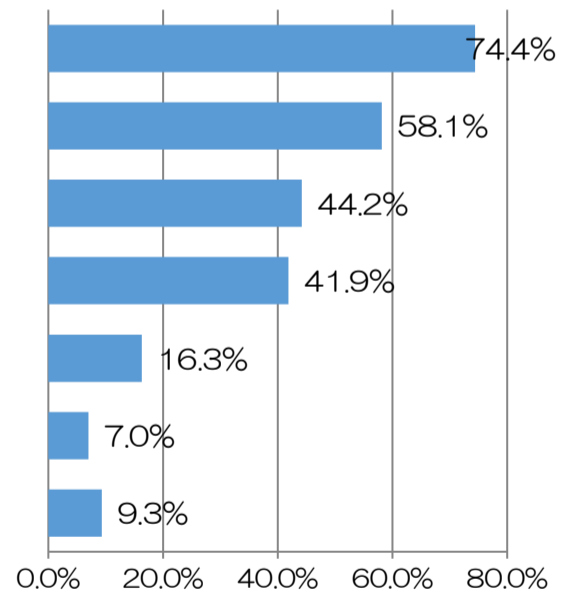
選択肢	回答数	構成比
入りたい	43	22.8%
入りたくない	144	76.2%
無回答	2	1.1%
合計	189	98.4%

無効回答 3件



問20で「入りたい」と回答した方のみお答えください。  
 問21：「入りたい」と思われる理由についてお答えください。（いくつでも）（N=43）

選択肢	回答数	構成比
地域に貢献できるから	32	74.4%
訓練や研修を通して防災に関するスキルを身に着けることができるから	25	58.1%
消火、救助などの消防活動ができるから	19	44.2%
地域との繋がりを持つことができるから	18	41.9%
年報酬、出動手当が支給されるから	7	16.3%
友人、知人が消防団に入っているから	3	7.0%
その他	4	9.3%
合計	108	



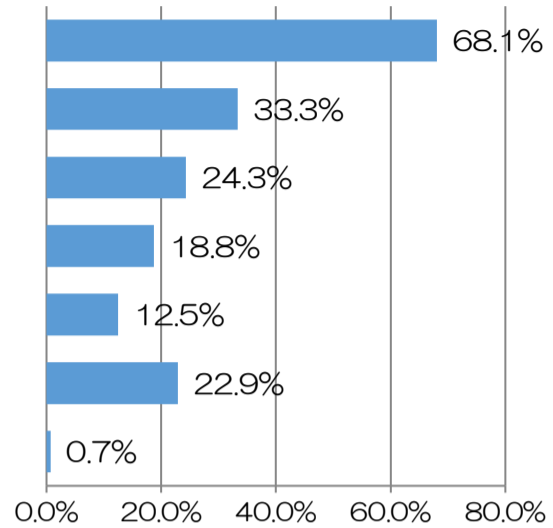
その他の意見

- 地域に生きる者の義務の1つと思うから

問20で「入りたくない」と回答した方のみお答えください。

問22：「入りたくない」と思われる理由についてお答えください。（いくつでも）（N=144）

選択肢	回答数	構成比
仕事との両立が難しそう	98	68.1%
せっかくの休日に時間を拘束される	48	33.3%
訓練が面倒そう	35	24.3%
地域の人との人間関係が煩わしそう	27	18.8%
消防団活動は危険ばかり	18	12.5%
その他	33	22.9%
無回答	1	0.7%
合計	260	

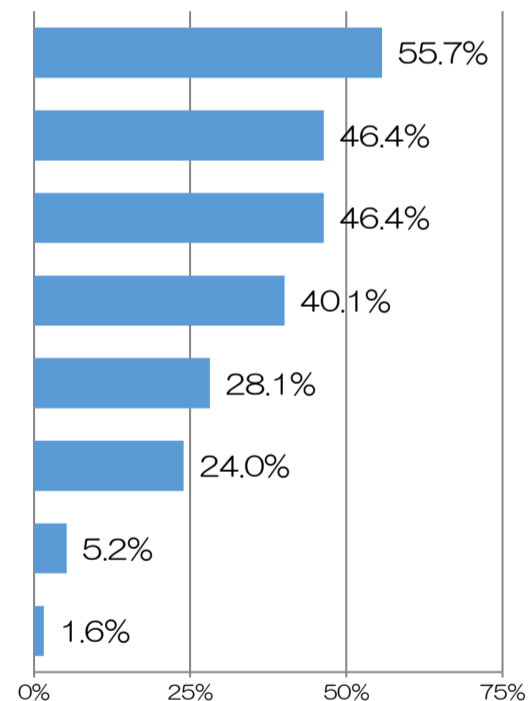


その他の主な意見

- 暇がない
- 年配の男性が多いイメージがあるため

問23：全国的に消防団員の減少が課題となっています。どのような取り組みが消防団員の確保につながるとお考えですか。（いくつでも）（N=192）

選択肢	回答数	構成比
消防団員の処遇等（年報酬・手当・服装等のデザイン）の改善	107	55.7%
広報活動	89	46.4%
消防団活動に対する事業所の理解促進・協力依頼	89	46.4%
町内会や学校のイベントへの参加	77	40.1%
大学や専門学校等への入団促進	54	28.1%
女性活動団体への入団促進	46	24.0%
その他	10	5.2%
無回答	3	1.6%
合計	475	

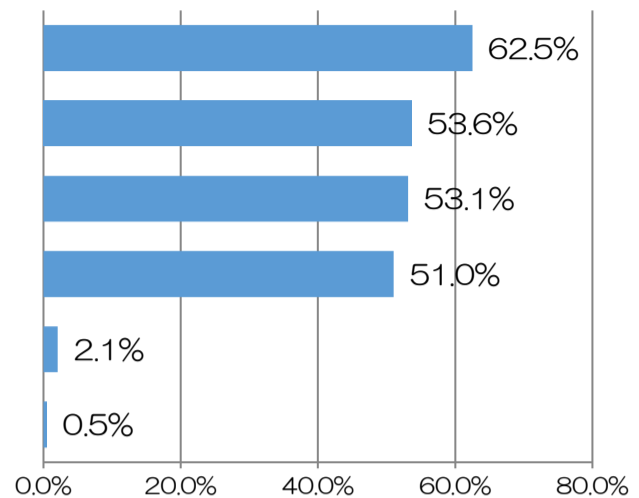


その他の主な意見

- 地域の職場で協力理解を深めて行く
- 年報酬を魅力的な額にアップすべき

問24：消防団に活動の中で特に期待する活動についてお答えください。（いくつでも）（N=192）

選択肢	回答数	構成比
防火・防災意識の普及啓発	120	62.5%
応急手当法の普及啓発	103	53.6%
地域（自主防災組織、地域コミュニティ協議会など）との連携強化	102	53.1%
消火活動	98	51.0%
その他	4	2.1%
無回答	1	0.5%
合計	428	

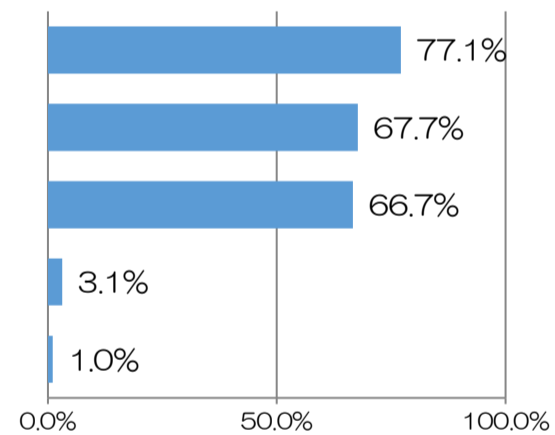


その他の意見

- ・防火・防災パトロールの強化。青パト的な活動。

問25：近年大規模災害が毎年のように発生していますが、消防団員の住民の避難誘導等の活動がクローズアップされる機会も多くなってきています。そこで、今後、消防団に期待する活動についてお答えください。（いくつでも）（N=192）

選択肢	回答数	構成比
大規模災害（地震、台風、火山爆発など）時における救助・避難誘導	148	77.1%
大規模災害時における避難所運営	130	67.7%
大規模災害時における支援物資の支給補助	128	66.7%
その他	6	3.1%
無回答	2	1.0%
合計	414	



その他の意見

- ・地域にあった事前準備、事前訓練

問26：消防団に関することについて、どのようなことでも構いませんので、自由にご記入ください。

- ・父も消防団員でしたし、友人に何名も消防団員として頑張っていますが高齢化が進んでいるようです。
- ・講習会で一般もボランティアも障害ある人も参加できるように工夫して頂きたい。防災体験とか1日でも行事の一つとしてやってはいかが？
- ・職場に何人団員がいるか、市内の企業で公表していいところがあれば団員の人数を出してもらおうと両立の可能性を考える（入団検討）する方が多くなるのではないか
- ・すでに書きましたが①消防団とは火事の消火を中心とするものではないのか ②現状で、今「消防団」なるものが何をしているのかを知らないのをこれを知りたい ③地域の有力者が地域の消防団を私物化しているような気がする ④公開性、公平性が必要な気がする。これには行政の方からの指導が必要と思われるが現状では無理でしょう（行政の方が、実際には力が弱いので）⑤募集の書伝物を読み、少しは分かりましたが具体的にはまだよくわかりません。
- ・地域のイベントなどに参加して頂き、消防団の魅力を伝えてほしい。職場の訓練で消防の方に来て頂くのですが話される内容に、あっそうだった、そうだと確認できたり意識するところもありありがたいです。そんな色々話を聞ける場がもっとあるといいと思います。また福祉関係にいなければ消防の方のお話など耳にする機会がどれほどあるだろうかと思うところです。
- ・若者へのアピールがもっとあったら良いのではと思う。（自分自身もあまり知らなかったため）

### テーマ担当課（消防局 警防課）からのコメント

平成29年度に同様のアンケートを実施し、その時のアンケートを基に消防団として地域防災活動に力を注いできました。そして、今回のアンケートで前回の結果と比較して、消防団の認知度が30ポイント増加していることは、市民の皆様の消防団に対する関心が深まっているものと考えています。

一方で、近年全国各地で毎年のように大規模災害が発生している現状を踏まえ「地域との連携」や「大規模災害時の支援」への関心や期待が寄せられていることもわかりました。

今回のアンケート調査の意見を参考に「地域を守る消防団」として今後の活動などについて検討し、今まで以上に住民の身近に感じられるよう、また、市民の皆様の期待に応えられるよう努めてまいります。

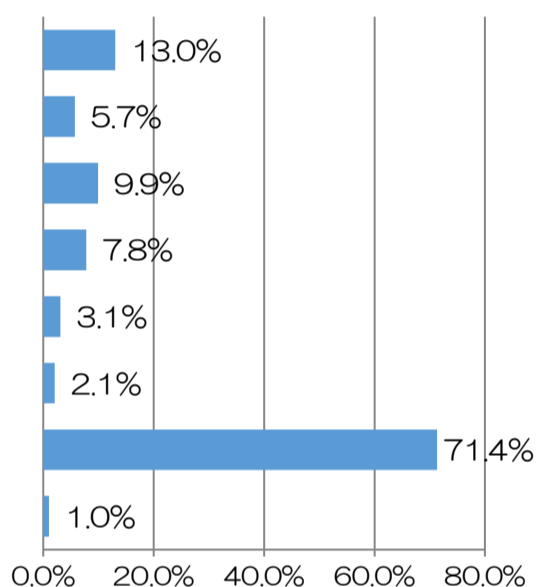
### 3. 健康づくりに関わるボランティア

#### 【アンケートの目的】

鹿児島市保健所では、市民一人ひとりが健康で生き生きと生活できるまちづくりを目指し、『健康づくりに関わるボランティア』を養成し活動を支援しています。市民の皆さんの『健康づくりに関わるボランティア』に対する関心度や、イメージ等を把握し、今後の事業推進の参考とすることを目的にアンケートを実施しました。

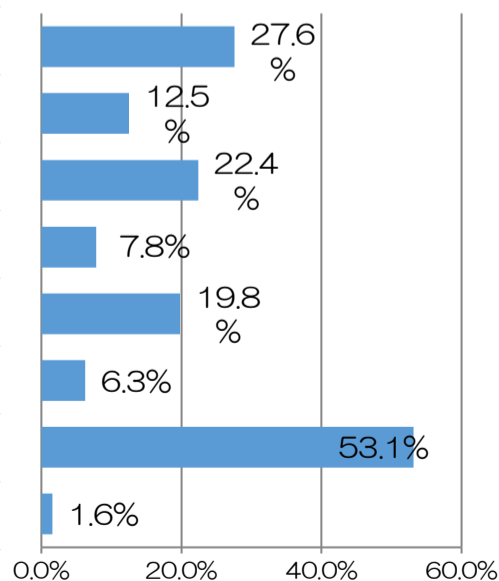
問27：次の健康に関する地域のイベントなどで、参加したことがあるものがあればお答えください。（いくつでも）（N=192）

選択肢	回答数	構成比
市民健康まつり	25	13.0%
各保健センター実施の健康まつり	11	5.7%
健康づくりウォーキング大会	19	9.9%
健康づくり料理教室	15	7.8%
よかよか体操交流会	6	3.1%
精神保健福祉ふれあい交流会や絵画展	4	2.1%
どれも参加したことがない	137	71.4%
無回答	2	1.0%
合計	219	



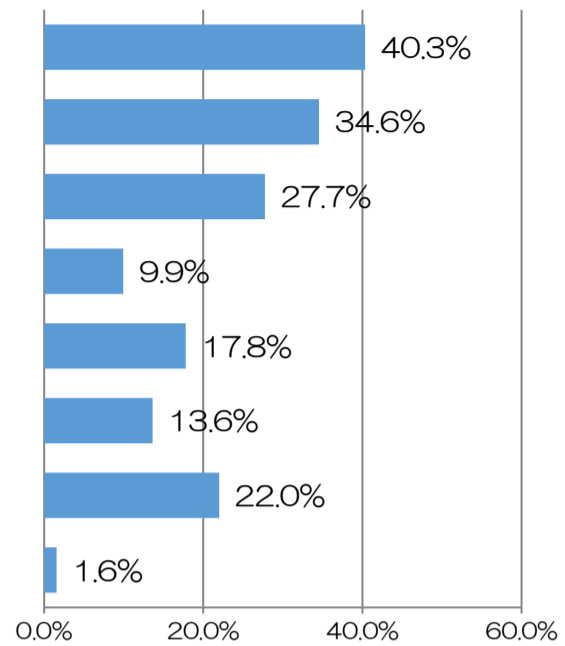
問28：鹿児島市保健所が養成・支援している『健康づくりに関わるボランティア』について、知っているものをお答えください。（いくつでも）（N=192）

選択肢	回答数	構成比
食生活改善推進員	53	27.6%
運動普及推進員	24	12.5%
健康づくり推進員	43	22.4%
精神保健福祉ボランティア	15	7.8%
母子保健推進員	38	19.8%
よかよか元気クラブを支えるサポーター	12	6.3%
全て知らない	102	53.1%
無回答	3	1.6%
合計	290	



問29：興味がある『健康づくりに関わるボランティア』はありますか。（いくつでも）（N=191）

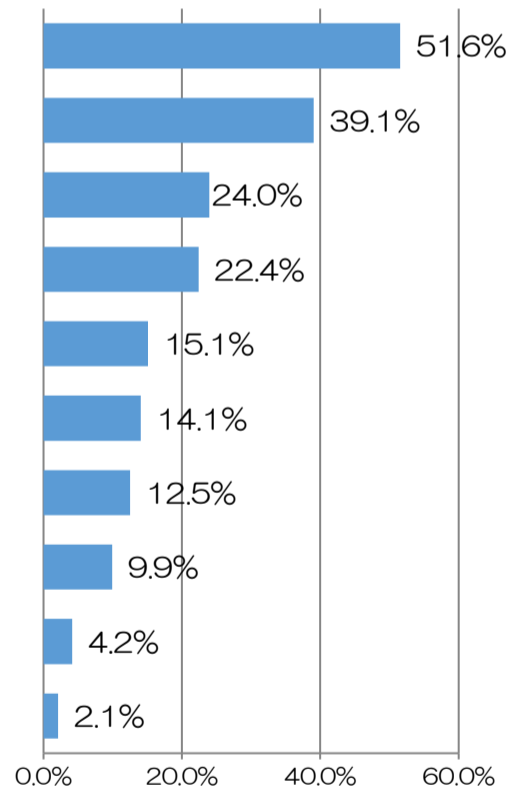
選択肢	回答数	構成比
食生活改善推進員	77	40.3%
運動普及推進員	66	34.6%
健康づくり推進員	53	27.7%
精神保健福祉ボランティア	19	9.9%
母子保健推進員	34	17.8%
よかよか元気クラブを支えるサポーター	26	13.6%
興味がない	42	22.0%
無回答	3	1.6%
合計	320	



無効回答 1件

問30：『健康づくりに関わるボランティア』についてどのようなイメージをもちましたか。（いくつでも）（N=192）

選択肢	回答数	構成比
健康に関する知識が増えそう	99	51.6%
ボランティアをすることで自分も元気になりそう	75	39.1%
自分にも何かできそうと興味がわいた	46	24.0%
人脈が増えそう	43	22.4%
何をするのかよく分からない	29	15.1%
人前で話すのが難しそうである	27	14.1%
責任が重そうである	24	12.5%
専門性が高く、難しそうである	19	9.9%
その他	8	4.2%
無回答	4	2.1%
合計	374	

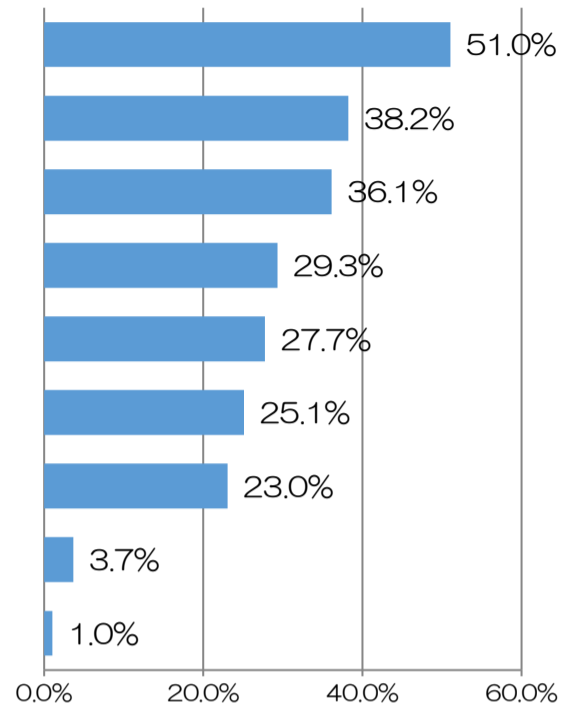


その他の意見

- 基本的に労力を無償で得ようという考えが嫌い
- 介護等々で忙しくて参加出来ない

問31：「健康づくりに関わるボランティア」の担い手を増やすにはどの活動が効果的だと思いますか。（3つまで）（N=192）

選択肢	回答数	構成比
ボランティア活動内容の明確化	98	51.0%
広報の工夫	73	38.2%
体験する場の設定	69	36.1%
ボランティアポイントの付与	56	29.3%
企業や各種団体への広報協力依頼・加入促進	53	27.7%
大学、学校、町内会などへのPR・ボランティア説明会	48	25.1%
ボランティアのマッチング制度	44	23.0%
その他	7	3.7%
無回答	2	1.0%
合計	450	

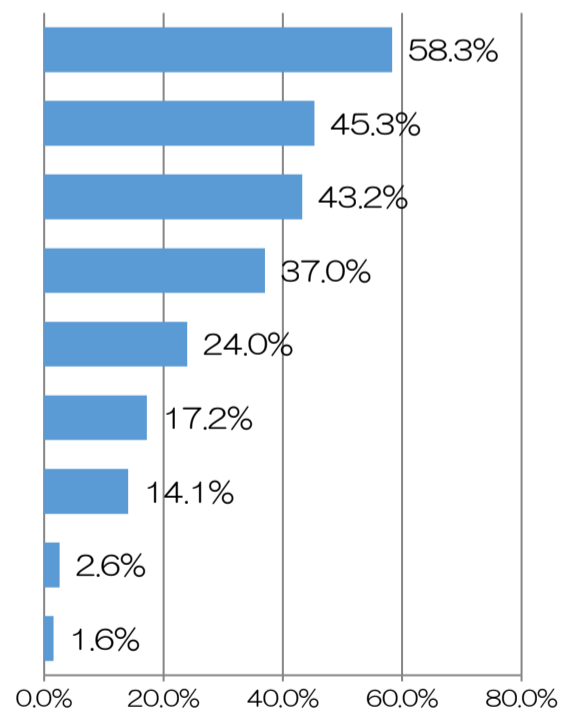


その他の意見

- ・ 障害者団体にも体験の場を！！
- ・ 高校生も対象とする

問32：「健康づくりに関わるボランティア」の担い手を募集する広報媒体はどれが効果的だと思いますか。（3つまで）（N=192）

選択肢	回答数	構成比
市の広報紙「市民のひろば」	112	58.3%
新聞やフリーペーパー	87	45.3%
SNS（フェイスブックやツイッター、LINE、インスタグラムなど）	83	43.2%
市の広報テレビ番組	71	37.0%
チラシの設置や配布	46	24.0%
ポスター掲示	33	17.2%
市のホームページ	27	14.1%
その他	5	2.6%
無回答	3	1.6%
合計	467	



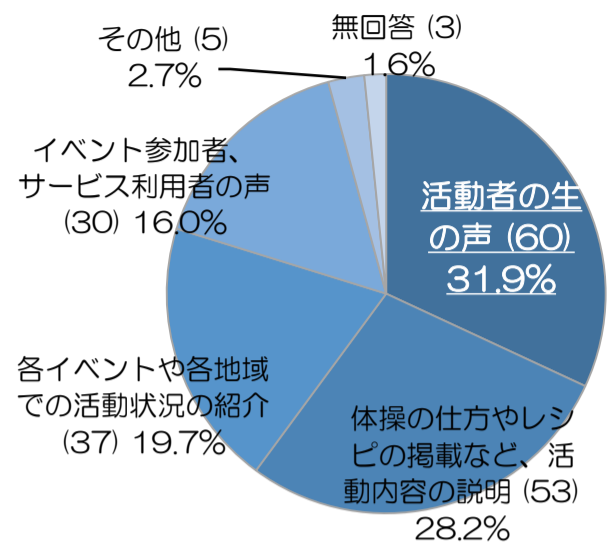
その他の意見

- ・ 企業に周知する
- ・ 興味をもってもらえそうなターゲットをしぼっての勧誘活動

問33：「健康づくりに関わるボランティア」の担い手を募集する広報について、どのような内容が最も効果的だと思いますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
活動者の生の声	60	31.9%
体操の仕方やレシピの掲載など、活動内容の説明	53	28.2%
各イベントや各地域での活動状況の紹介	37	19.7%
イベント参加者、サービス利用者の声	30	16.0%
その他	5	2.7%
無回答	3	1.6%
合計	188	

無効回答 4件



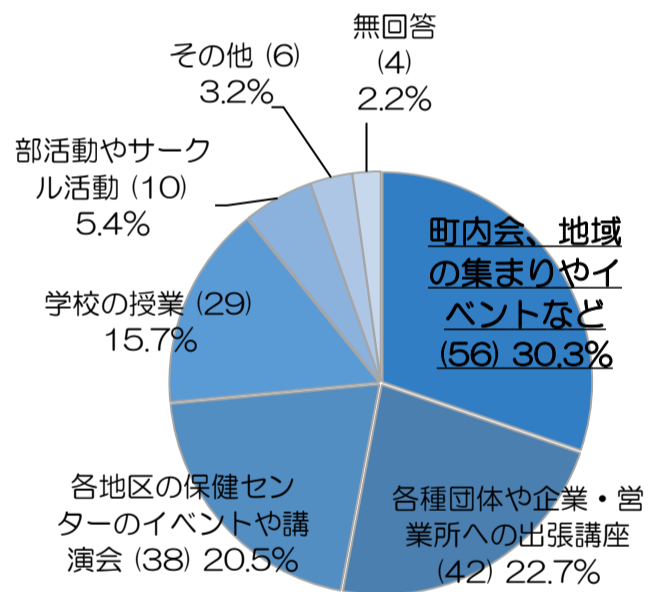
その他の意見

- ・拘束時間や期間、ボランティアポイントの明確化

問34：ボランティアのPR・説明会を実施するにあたって、どのような機会が効果的だと思いますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
町内会、地域の集まりやイベントなど	56	30.3%
各種団体や企業・営業所へ出張講座	42	22.7%
各地区の保健センターのイベントや講演会	38	20.5%
学校の授業	29	15.7%
部活動やサークル活動	10	5.4%
その他	6	3.2%
無回答	4	2.2%
合計	185	100.0%

無効回答 7件



その他の意見

- ・スーパーなど、お客さんがフラットにいらっしゃる場
- ・運動や健康に興味のある人の集まりの場



問35：これからの少子超高齢社会の中で、身近な地域で活動するボランティア活動がますます必要になってくると思われます。  
そのような中で、健康づくりに関わるボランティアとして、あったらいいなと思うものや、自分でもしてみたいと思うものがあればご記入ください。

- ・高齢者住宅への訪問、声かけ
- ・鹿児島市と合併するまでは地域の運動会やソフトボール、バレーボールなど地域の方と学校ぐるみで参加できる行事があったが合併後はなくなり地域住民の方といっしょに運動をする機会が少なくなった。
- ・鹿児島マラソンでボランティアのウィンドブレーカーが目当てで参加したことがあるので「あのウェアもらえるなら参加したいわ」と思えるようなものを用意するとか。キャップとかTシャツとか。
- ・①ヨガ②ウォーキング→コークON等、歩いてスタンプやポイントを貯めている人が増えている為参加者がはば広く多そう！！
- ・町あるきなどの行事で、歴史や文化財などを学べる機会があればいいなと思います。
- ・子供とご年配の方々が一緒に楽しめる簡単な体を動かすゲームがあるといいですね。

問36：『健康づくりに関わるボランティア』についてどのようなことでもかまいませんのでご自由にお書きください。

- ・学校とか夜の歩こう会とか有れば参加したいですね
- ・食生活改善推進員ほか5つの推進員の内容、養成講座を受ければ推進員として活動できることを初めてわかった。もっと早く広報すべきだと思う。アンケートでの紹介内容を市民へ知らせることがこれからの推進員としてのボランティアにつながると思います。
- ・気軽に参加できるようにしてほしい
- ・なぜボランティアにこだわるのかよくわかりません。1人1人が健康のために活動することが先ではないのか。それができる環境（講演など）や条件（諸設備など）を作ることが求められるのではないか。
- ・たとえば料理教室で作っているところの写真、できあがった写真や、ウォーキング大会が行われている動画など楽しく行っているところをSNSを使って広く配信してみるのもよいと思います。意外と65歳以上の方もそういったものは見えて、外に出なくても「よいなー」と思ってもらえれば人は集まるのではと思います。
- ・開催の日時を平日ではなく、仕事をしていても参加できる日程にして欲しいです

### テーマ担当課（保健予防課）からのコメント

アンケートの結果、健康づくりボランティアを全て知らない人が、過半数であったことより、市民のひろば等を活用してより周知を図っていくべきと考えます。なおその際には、活動者の生の声や活動内容をより分かりやすく紹介できるよう工夫していくこととします。また、地域の集まりやイベントなど人が集まる場で、活動内容を体験できるなどより効果的なPR方法も検討してまいります。

★ご協力ありがとうございました！